

まなぶだより

令和8年度 第2号



6年次研修共通研修①（紀南の部）の様子
令和8年7月3日

CONTENTS

- 1 夏休みは「学びの旅」
～ 副所長メッセージ ～
- 2 余白の時間に最適な学びを
～ 動画研修パッケージのご案内 ～
- 3 何のためにその行動を変えるのか？
～ 「ポジティブ行動支援」を学ぶ ～
- 4 あなたの実践を、みんなの学びへ
～ きのかに授業交流会 ～



学びの丘イメージキャラクター
まなぶ

1 夏休みは「学びの旅」～ 副所長メッセージ ～

「この夏休みに、ちょっと面白いところにいって来てね…」



4月から、本当にお疲れ様でした。今日では学びの場が広がり、こどもたちも教師も主体的に学びを選択することができます。ワクワク感を大切に、専門書に没頭したり新分野に触れたり、夏は絶好の「知の旅」の機会です。

近年、組織を越えて行動し、知見を還元する「越境人材」の価値が高まっています。普段の環境を離れ、異校種や他業種の方と関わる出会いは、新たな価値の創造や、秋以降の指導の深みへとつながります。そのような「越境の旅」を意識するのもいかがでしょうか。

もちろん学びの丘の様々なコンテンツも、その旅先の選択肢の一つです。

この夏はぜひ、ご自身の好奇心に従って「旅」に出て、夏休み明けはこどもたちの心を揺さぶる冒頭の一言から始めてみませんか。

2 余白の時間に最適な学びを～ 動画研修パッケージのご案内～

当センターでは、皆さんの興味・関心に応じてオンライン視聴できる「動画研修パッケージ」を提供しています。大学教授等の講義動画と、資料等がセットになったもので、動画視聴時間もコンパクトに設定しています。



「学校で生かす認知行動療法研修講座」

NEW

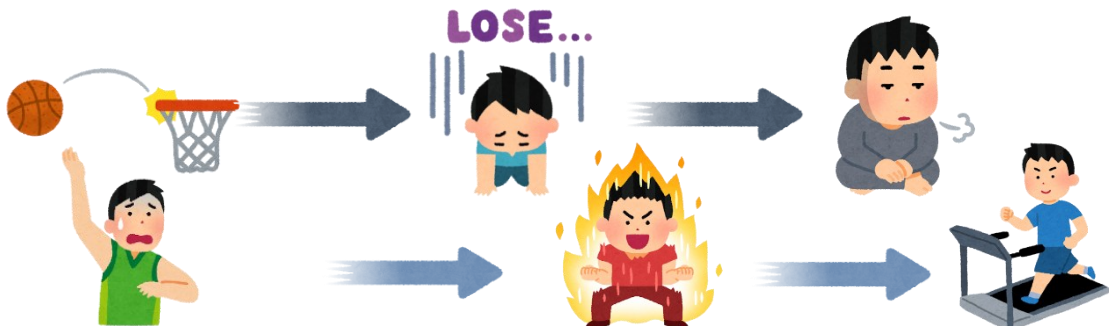
認知行動療法では、出来事そのものではなく、「その出来事をどのように受け止めたか」が感情や行動に影響すると考えます。講座では、考え方・気持ち・行動・身体反応のつながりについて学び、こどもの支援に生かす視点を紹介しています。

認知モデルのABC

事前の出来事
Antecedent Event

信念（認知）
Belief

情緒・行動 結果
Consequences



自分の信念（認知）の傾向に気付くことで、より柔軟で適切な対処方法を身に付けることができます。



「動画研修パッケージ」のご利用方法等については、

[こちら](#)をクリック もしくは 右上の二次元コードよりアクセスしてください。

3 何のためにその行動を変えるのか？

～「ポジティブ行動支援」を学ぶ～

専門性の向上を目指す研修＜選択研修＞として、今年度新たに「こどもの自己肯定感を高める行動支援～適応を支え成長を促す学校全体による支援～」を、全3回のインターバル研修として開設しています。

こどもたちの生活を有意義なものとするために、また、学校としての機能を最大限に発揮するために、本研修では、人の行動を科学的に理解する応用行動分析学（Applied Behavior Analysis：ABA）と、環境を整え、こどもがより良く生活できるようになることを支援する総合的なアプローチであるポジティブ行動支援（Positive Behavior Support：PBS）を理論背景として取り扱います。

第2回 8月 4日（火）
第3回 12月18日（金）
※全てオンライン実施
※第1回は実施済み

他の研修も、聴講希望者を受付中です。
オンライン研修も増えており、所属校で受講できます。

聴講申込み・問合せ先
研修課（専門性の向上を目指す研修担当）
【TEL】 0739-26-3495

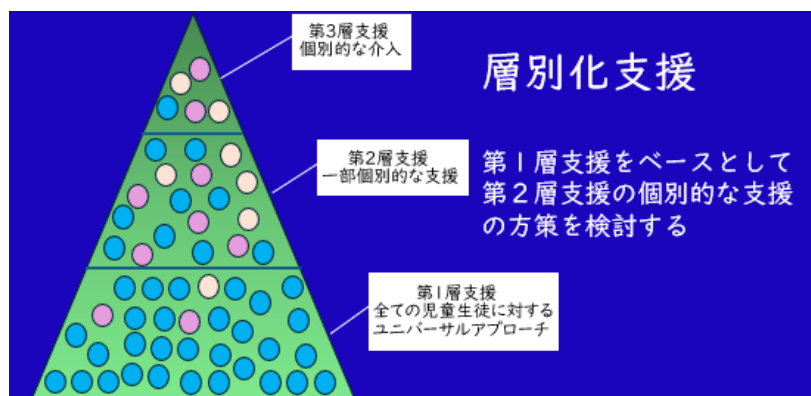
PBSは持続可能で、再現性があり、誰が支援しても同じ質を保つことができる行動支援の仕組みです。この仕組みのもとでの支援は、こどもにとって行動を自己調整できる自立につながります。そして、学校だけでなく、家庭や社会との協働による途切れない支援のネットワークが期待されます。

皆さん、一緒に「ポジティブへのドア」を開きませんか？



Topics 「SW-PBS 学校規模ポジティブ行動支援」

こどもの行動支援を行う際に、重視してほしいのが、特定のケースだけを意識しないということです。PBSは全てのこどもを対象としたシステムアプローチであり、全てのこどもに対して、行動評価を行うことが必要です。そのためには、学級



や学年、もしくは学校全体で集団全体を対象としたSW（スクールワイド）な層別化支援のシステム構築が不可欠となります。そして、そのアプローチは教職員全体の指導の基準となり、同僚性の向上にもつながります。

4 あなたの実践を、みんなの学びへ ～きのくに授業交流会～

県内の小・中学校を対象に、「きのくに授業交流会—みんなで授業改善—」を実施しています。授業の様子を撮影した動画を、県内の教員に向けて全国教員研修プラットフォーム上で公開します。授業者は、動画を視聴した方からコメントをもらうことができ、その後の授業改善につなげることができます。

昨年度、たくさんのコメントをいただきました。ここで一部紹介します。

導入にワクワク感があり、内発的動機づけがされていた授業だったと感じました。色、形、イメージという観点が与えられていたことでスリーヒントが考えやすく、着目すべき点が分かりやすいと感じました。

自身の授業でも予想を立てさせ確認しますが、どうやって確認するかを問いかけることも一つの手法だと思いました。



読書感想文を何のために書くのか、明確な目的をもてていませんでした。この授業からは、どのように書くのかだけでなく何のために書くのかという目的意識が生まれるように思いました。

一人で黙々と頑張るだけではなく、対話を通してよりよいものにしようと確認する場面が、学習者の意欲を支えていると思いました。そんな「協働的な推敲」の場が表現力を高めると思います。

課題と理想を考えさせた後に「じゃあ何が必要か」と考えさせる流れがとても素敵でした。いろいろな場面で活用できそうだと思います。

自校にしながら、他都市の素晴らしい授業を参観できることを大変便利で研修として有効であると感じています。授業を公開してくださる先生方に感謝の気持ちが湧いてきます。



教科や授業形態（研究授業、普段の授業）は問いません。皆さんの実践、授業で大事にされていること等を、ぜひ発信していただけたらと思います。



申込み・問合せ先
研究開発課（きのくに授業交流会担当）
【TEL】0739-26-3494



【概要説明】